

## 9 収入状況について（税込み）

### (1) 下水道使用料等の収入状況

下水道使用料の収入率は現年度分が89.5%で、繰越分が93.4%となっている。前年度と比較すると、現年度分は0.8ポイント下回っているが、繰越分は0.8ポイント上回っている。

受益者負担金の収入率は現年度分が98.5%で、繰越分が27.2%となっている。前年度と比較すると、現年度分は0.6ポイント上回っており、繰越分は1.6ポイント上回っている。

収入状況の内訳は次のとおりである。

(単位：円、%)

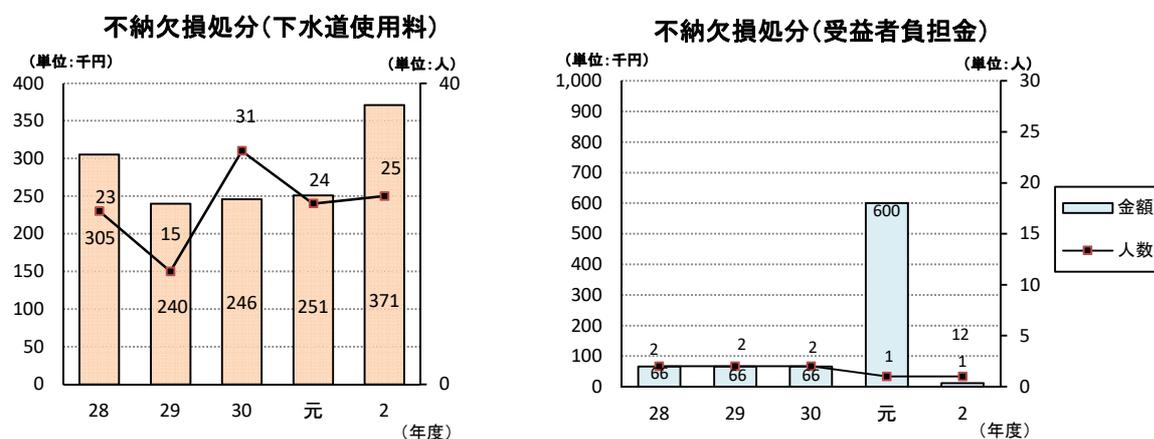
| 区 分              |               | 調定額           | 収入額           | 未収入額       | 収入率     | 不納欠損額   |
|------------------|---------------|---------------|---------------|------------|---------|---------|
| 現<br>年<br>度<br>分 | 営 業 収 益       | 670,418,622   | 622,187,356   | 48,231,266 | 92.8    | 0       |
|                  | 下水道使用料        | 458,091,622   | 409,860,356   | 48,231,266 | 89.5    | 0       |
|                  | 他会計負担金        | 212,027,000   | 212,027,000   | 0          | 100.0   | 0       |
|                  | その他の営業収益      | 300,000       | 300,000       | 0          | 100.0   | 0       |
|                  | 営 業 外 収 益     | 907,054,978   | 869,846,677   | 37,208,301 | 95.9    | 0       |
|                  | 特 別 利 益       | 0             | 0             | 0          | —       | 0       |
|                  | 計             | 1,577,473,600 | 1,492,034,033 | 85,439,567 | 94.6    | 0       |
| 受 益 者 負 担 金      | 52,521,290    | 51,715,230    | 806,060       | 98.5       | 0       |         |
| 繰<br>越<br>分      | 営 業 収 益       | 45,804,653    | 42,789,131    | 3,015,522  | 93.4    | 370,584 |
|                  | 下水道使用料        | 45,804,653    | 42,789,131    | 3,015,522  | 93.4    | 370,584 |
|                  | その他の営業収益      | 0             | 0             | 0          | —       | 0       |
|                  | 営 業 外 収 益     | 67,271,053    | 67,271,053    | 0          | 100.0   | 0       |
|                  | 計             | 113,075,706   | 110,060,184   | 3,015,522  | 97.3    | 370,584 |
| 受 益 者 負 担 金      | 6,381,060     | 1,733,320     | 4,647,740     | 27.2       | 12,400  |         |
| 合 計              | 1,749,451,656 | 1,655,542,767 | 93,908,889    | 94.6       | 382,984 |         |

### (2) 不納欠損の状況

下水道使用料の不納欠損処分額は370,584円で、前年度と比較して119,440円（47.6%）の増となっており、対象者は25者（うち個人23人、法人2社）で、前年度と比較して1者の増となっている。

受益者負担金の不納欠損処分額は12,400円で、前年度と比較して588,074円の減となっており、対象者は1者（人）で、前年度と同数である。

不納欠損の理由を見てみると、下水道使用料では消滅時効によるもの（23人）が最も多くなっている。受益者負担金は、生活困窮によるものとなっている。



## 10 補てん財源について（税込み）

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額（差引決算額）532,397,240円は、損益勘定の現金支出を伴わない費用である減価償却費等や減債積立金等の内部留保資金で補てんされる。内訳は次のとおりである。

（単位：円）

| 区 分                    | 補てん財源額        | 補てん額        | 残 額         |
|------------------------|---------------|-------------|-------------|
| 減 債 積 立 金              | 112,550,748   | 112,550,748 | 0           |
| 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 | 17,341,092    | 17,341,092  | 0           |
| 過年度分損益勘定留保資金           | 455,203,117   | 402,505,400 | 52,697,717  |
| 当年度分損益勘定留保資金           | 476,919,182   | 0           | 476,919,182 |
| 減 価 償 却 費              | 820,017,925   |             |             |
| 資 産 減 耗 費              | 4,279,835     |             |             |
| 長 期 前 受 金 戻 入          | -347,378,578  |             |             |
| 当年度分未処分利益剰余金           | 205,927,771   | 0           | 205,927,771 |
| 計                      | 1,267,941,910 | 532,397,240 | 735,544,670 |
| 当年度分消費税還付金             |               |             | 34,311,387  |
| 翌年度への繰越                |               |             | 769,856,057 |

上記の表にある補てん財源は、上から順に補てん財源として使用することになっており、当該年度で補てんに使用する額が補てん財源額を下回り、残った場合は翌年度に過年度分として使用することができるものである。本年度は、補てん財源額が1,267,941,910円に対し、資本的収支の不足額は532,397,240円であり、残り735,544,670円に当年度分消費税還付金34,311,387円を加えた769,856,057円が翌年度へ繰り越されることになる。

## 11 予算議決事項について（税込み）

予算第6条企業債、第7条一時借入金、第9条議会の議決を経なければ流用することができない経費については、いずれも議決されたところに従って適正に執行されている。

（単位：円）

| 区 分       | 議 決 額       | 執 行 額       | 比 較 増 減      |
|-----------|-------------|-------------|--------------|
| 企 業 債     | 990,100,000 | 870,921,500 | -119,178,500 |
| 一 時 借 入 金 | 600,000,000 | 0           | -600,000,000 |
| 職 員 給 与 費 | 66,849,000  | 62,678,199  | -4,170,801   |